

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



**4.5 特集** 今も生き続ける青年学級活動  
 ～十日町青年学級の雪まつり雪像制作活動～

- 2 **トピックス** 第4回理事会・第2回評議員会開催
- 3 **視点** 大合併にあたって、社会教育委員のふんばりを!!
- 3 **ひろば** 少子化と国際化
- 6 **実践記録シリーズ** 新潟大学法学部との連携講座
- 7 **サークル交流** スポーツチャンバラ豊浦支部 (新発田市) / 丹田呼吸法教室 (西川町)
- 7 **素顔拝見** 酒井範子さん (五泉市) / 外ノ池一さん (上越市)



「フリースペース自由空間」新潟市

# 第4回理事会・第2回評議員会開催

## 17年度基本方針事業概要決定と市町村合併と財政確立への対応

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

第56回県公民館大会開催案、

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

第56回県公民館大会開催案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

去る2月23日(水)の午

後新潟市中央公民館で第4

回理事会が開催され、第55

回県公民館大会の決算報告、

当会の17年度基本方針・重

点目標・事業計画概要案、

### 平成17年度基本方針

市町村合併特例法の適用期限も間近に迫った今年度は、県内の市町村合併も最終段階を迎えており、そして地方交付税の減少に伴う行財政改革の流れも、急速に進みつつあります。

関連して、地方自治法の改正に係る「指定管理者制度」の導入等により、公民館等社会教育施設の民間委託の動きも出て来ております。また当県公連としては、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の問題にも直面しております。

このような厳しい時代の大幅換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、私ども新潟県公民館連合会では、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も何とか存続できるよう、各行政機関・組織・地域住民の理解・連携協力を得ながら、次の六点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1) 関係上部組織とのより一層の連携・強化
- (2) 職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 事業の自己評価
- (5) 県公連の体質の強化(自主財源確立の努力)
- (6) 市町村合併問題への対応

計画概要案に  
ついて  
基本方針は  
上掲のとおり  
であるが、最  
終段階に入っ  
て来た市町村  
合併問題につ  
いては、今後  
自主財源確立  
のための調査  
検討委員会の  
活動内容に包  
含して取り組むこととなつ  
た。

- また、脱退精算負担金の返済についても、三ヶ年計画を立案して、自主財源確立のための調査検討委員会に対応することとなった。
- 二、第56回新潟県公民館大会開催について  
大会開催地白根市(3月21日新潟市に合併予定)から提案され、ほぼ原案どおり了承された。
- 三、会則・規程の改正について  
(1) 会則の改正  
市町村合併に伴う郡市公連の再編等から理事・監事の減員を行う。  
・第六条 理事7名を5名に減ずる



また県大会等では、協賛  
広告を得ていくこととなつ  
た。

# 視点

## 大合併にあたって、社会教育委員のふんばりを!!

新井市 社会教育委員会議長 安藤 喜悦



平成の大合併の嵐が吹き荒れ、上越地域の三市三郡（十二市町村）がついには三市にまとまってしまいました。この合併によって、当然のことながら、社会教育委員と公民館運営審議会委員の数が従来の三分の一程度に減少してまいります。これによって地域の社会教育、生涯学習等の推進になんらかの制約が加えられるのでは—という心配が出てきます。もちろん、委員の数だけで各学習や事業の内容が左右されるとは思って

いませんが、今までそれぞれの市町村単位で細く配置されていた委員が無くなることによって、その地域の生涯学習の内容が大きく様変わりするものと思います。そこで、これからの生涯学習（地域づくり）には、今まで以上に、地域住民のみならずの声を出来るだけ多く集め、それを集約して今後の事業推進に生かすことが出来ればいいのではないのでしょうか。そういう意味からも、これらの社会教育委員の踏んばりが大きな力になると思います。

## HOT NEWS

# 掲 示 板

**第2回 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会の開催**

- 日時** 平成17年2月25日（金）  
午後2時00分から4時30分まで
- 会場** 横須賀市生涯学習センター  
出席35人（渡辺副会長、鈴木事務局長 出席）
- 報告・協議**

**報告**

- 関東甲信越静公民館研究大会開催に関する申合わせについて
- 第45回関東甲信越静公民館研究大会会計報告について

**協議**

- 第46回関東甲信越静公民館研究大会の開催計画について
  - 開催要項（案）について
  - 予算（案）について
  - 分科会担当県の調整について  
新潟県公連は、第14分科会「市町村合併」
  - その他 分科会場・宿泊・交流会等について
- 平成17年度役員（案）について
- 平成17年度関東甲信越静公連理事会の日程等について
- 第28回全国公民館研究集会分科会の分担に関する調整について  
新潟県公連は、第7分科会「環境教育」
- その他

# ひろば

## 少子化と国際化

岩室村公民館運営審議会委員 杉山 正

大相撲初場所が始まっているが、番付を見ると幕内力士の四割がモンゴルなどの外国人力士である。国技である大相撲の国際化の表れと評価すべきであろうか。裏を返せば、日本人力士が彼らに遅れをとってどんどん先を越されているのである。

この少子化の影響は、相撲界だけではない。これに急ブレーキがかからないとすれば、まずは「少ない子どもをどのように育てるか」を社会全体で取り組まなければならない。決して親任せでは解決できない問題である。各地区の公民館もその一翼を担っている。

過曰、大相撲の審判部長である押尾川親方が、「少子化社会になり、一人や二人の子どもを散えて厳しい相撲界に弟子として送り出す親が少なくなった。また、入門してきても大事に育てられてきているため、昔のような扱いはできない」と少子化を嘆いておられた。そうならば体格に優れてハ



# 級活動

## まつり雪像制作活動～

このように、肉体と精神の双方をかなり酷使する作業を通して雪像は完成するのです。

### 3. 青年たちは雪像づくりで何を得るか

前述したように、決して楽しいことばかりではない雪像づくりをなぜ青年たちは毎年続けるのでしょうか。

第一の理由として、一度雪像作りを経験した青年たちが、この苦しい作業の先にある充実感や達成感を知っているからだと思います。2週間かけて自分たちが完成させた雪像を見上げた時、一つのことを皆でやり遂げたという達成感が青年たちの胸の中に広がります。

市長賞などを取るような雪像に比べれば、青年学級で作る雪像は完成度が低いことは否めませんが、やはり出来上がったときの感動は大きいものです。青年たちは、「大変だけれど、来年もまたあの感動を味わいたい」という思いに駆られるのだと思います。

また、出来上がるまでの過程では、疲労から皆がイライラして人間関係に不和が生じたり、雪像についての意見が合わず衝突が起きたりもします。しかし、そうしたことを乗り越えて作業を行うことで、青年たちはより強固な人間関係を獲得していきます。

さらに、雪像を作ることで、地域社会における自分たちの存在をしっかりと感じるができます。

毎年、青年学級が雪像を作っている場所は、カーニバル会場に通じる坂道の上がり口から見えるところにあります。そのことは雪まつりのメインイベントである雪上カーニバルを見に来た大勢の人たちが、行き帰りの道中で青年学級生の雪像を目にすることを意味します。そして、青年たちは「雪上カーニバルに訪れた人たちから、自分たちが一生懸命に作った雪像を見てもらい、楽しんでもらおう！」ということを強く意識しています。

このことは、雪まつりという地域の大会



の中、自分たちには自分たちなりの役割がしっかりあるのだ、という自覚につながっています。雪像づくりという大作業を通して、青年たちは地域社会に参加するきっかけを得ることになるのです。

現代の青少年について、自己肯定感や自尊心が弱いことがよく問題にされます。自分がかけがえのない存在だと感じられない、自分のような人間はどこにでも代わりのいる平凡な存在でしかない…、そういった自己認識が青少年の内面には根深く存在しています。

その原因について、小さい頃からの受験競争・偏差値競争、頻発するいじめなどの学校教育の抱える問題など様々なことが言われますが、青年学級に集う青年たちを見ても、やはり同様の傾向が感じられます。

しかし、雪像づくりを通して、「自分にもこれだけ大変なことを成し遂げる力があるのだ」「自分も地域の中で大切な役割を担っているのだ」「自分には一緒に汗をかける大切な仲間がいるのだ」という意識は、自己肯定感を取り戻すためのまたとない契機になると思います。

### 4. おわりに

私がこの原稿を書いているのは、雪像作りの真っ最中です。従って、今年の雪像が入賞しているかどうかは、この文章を書き上げた時点では分かりません。しかし、賞に入ろうと入らなかりと青年たちは雪像作りをやって良かった、と思うはずで。

この雪像作りは、彼ら・彼女らが人間的に大きく成長するための貴重な機会でもあります。今年の雪像づくりを経験した青年たちが得たものを、この後に続く青年たちにも感じてもらうためにも、公民館における青年の学びの中で雪像作りはこれからも永く続けていきたいと考えています。

# 特集

# 今も生き続ける青年学 ～十日町青年学級の雪

十日町市公民館

社会教育主事 小川 清貴



## 1. 十日町青年学級の概要

昭和23年に定時制高校の入学準備補習講座として始まった「青年講座」、それが現在も公民館本館で続けられている十日町青年学級の始まりです。

その後、1954(昭和29)年に、当時の青年学級主事であった佐野良吉氏がコース制学習という方式を取り入れ、現在に近いスタイルが確立されました。以来コースの内容は、その時代の青年たちの学習要求を反映して様々に変わりながらも、公民館を会場に活動が続いています。

平成16年度は、18～30歳までの青年男女を参加対象として、「焼物」「パソコン」「料理」「手話」「英会話」「シネマ&ビジュアル(ビデオ作品制作)」の6つのコースを開設し、50数名の青年が学んでいます。

毎週木曜日の夜になると、公民館にはそれぞれのコースで学ぶために青年たちが仕事を終えて集まってきました。

青年学級の学習と活動は、この6つに分かれたコース学習以外にも、全体学習やスポーツDAYといったコースの垣根を越えた学習の場や、青年学級生自らが運営する自治会活動などがあります。

自治会活動には、新年度の交流会や夏のキャンプ、地域の子どもたちに普段自分たちが学んでいることを教える「青年学級フェスティバル」や公民館まつりでのバザー、さらには毎月発行する手作りの広報紙の編集・作成など様々なものがありますが、中でも青年たちが地域社会に参加する重要な機会となるのが、毎年2月に行われる十日町雪まつり「雪の芸

術展(芸術部門)」における雪像制作です。

## 2. 青年学級の雪像制作活動

十日町青年学級として、この雪像づくりに初めて参加したのは1956(昭和31)年です。以来ほぼ毎年参加し、昨年度は、通算40回参加の特別表彰を受けました。

ここ数年は入賞を逃していますが、1969(昭和44)年の第20回から1971(昭和46)年の第22回雪まつりにかけては、3年連続で金賞を受賞するなど、輝かしい成績を残した年もあります。

この雪像づくりは、決して楽しいだけの作業ではありません。まず、雪像のタイトルも含めてどのようなものを作るか考えるところが最初の課題となります。その年の干支や大きなイベント、社会的な話題、子どもたちに人気のアニメキャラクターなどを題材にして、自治会の役員が中心になり、「見る人たちに喜んでもらえる雪像は何か」「今年の雪像にふさわしいものは何か」と思案します。

それが決まると、今度は油粘土で雪像のミニチュア模型を作ります。

実際に制作作業が始まると、毎晩それぞれの仕事が終わった後に、青年たちが制作場所に集まり、雪の降る中で作業します。作業は足掛け2週間かけて行いますが、最初の週はひたすら雪を積み上げる作業となります。積み上げ作業はスノーロータリーなどの機材も使いますが、人力での積み上げ作業や積み上げた雪を踏み固める作業も多くある重労働です。3日もすると疲労で体が重くなり、くたくたになります。

そして2週目に入ると、いよいよ雪像の削り出し作業です。これは、失敗すると修正がきかなくなる場合もあるので大変神経を使うものです。また、単純な積み上げ作業と違い、技術やセンスが問われるので、初心者は特に苦勞する部分です。

# 実践記録

84

シリーズ

## 新潟大学法学部との連携講座

白根市生涯学習課 派遣社会教育主事 笠原 誠也



### 1 はじめに

白根市教育委員会生涯学習課では、市民の現代的な学習課題に対応し、知的欲求を満たす学習機会を提供することをねらいとして、平成13年度から新潟大学法学部の協力を得ながら、「大学との連携講座」を開講しています。毎年、市民から好評を得ており、他市町村からの受講者もおられます。

昨年度から派遣社会教育主事として白根市教育委員会生涯学習課にお世話になり、この事業の主担当をさせていただくことになりました。

本年度の講座の概要と成果・反省をまとめ、実践記録とさせていただきます。

### 2 講座の概要について

#### (1) テーマ

「犯罪と法について考える」

#### (2) 募集定員・申込者数等

募集定員50人 申込者23人 定員達成率46.0%

昨年からのリピート受講者9人

#### (3) 会場：白根学習館

#### (4) 受講料：3,000円

#### (5) 内容・指導者・日時

##### ① 刑法の基礎1 (法学部 丹羽正夫 教授)

9月15日(水) 19:30~21:00

日本の犯罪発生状況と刑事紛争処理システムについて学びます。

##### ② 刑法の基礎2 (法学部 本間一也 教授)

9月22日(水) 19:30~21:00

刑法の基礎的な考え方について学びます。

##### ③ 刑法各論1 (法学部 本間一也 教授)

9月29日(水) 19:30~21:00

ドメスティックバイオレンスについて学びます。

##### ④ 刑法各論2 (法学部 丹羽正夫 教授)

10月6日(水) 19:30~21:00

児童虐待について学びます。

##### ⑤ 刑法と家族 (法学部 南方暁 教授)

10月13日(水) 19:30~21:00

家族法と家族内の暴力について学びます。

##### ⑥ 刑法と法医学 (医学部 山内春夫 教授)

10月20日(水) 19:30~21:00

刑事事件と法医学について学びます。

### 3 講座の成果

～アンケートの結果から～

(受講者23人中 回答者17人)

- A・そう思う B・ややそう思う  
C・あまり思わない D・全く思わない

(人)

設問番号	設 問	A	B	C	D
ア	講座の主題(テーマ)は明確であった。	15	2	0	0
イ	講座の内容は興味深かった。	10	7	0	0
ウ	講義の内容、説明はよく理解できた。	10	7	0	0
エ	この講座で新しい知識が得られた。	14	2	1	0
オ	講義は、受講者の反応を見ながら進められていた。	6	9	2	0
カ	講義で用いられた教材・資料は適切であった。	9	8	0	0
キ	講座の回数(6回)は、適切であった。	10	5	2	0
ク	この講座の受講を、友人・知人にもすすめたい。	10	6	1	0
ケ	この講座をきっかけに、自分でもっと学習を進めたい。	10	7	0	0
コ	また来年も受講したい。	14	3	0	0
サ	講座が始まるまでの準備や進行は、適切であった。	12	5	0	0

### 4 受講者の声

- ・今まで知らなかった生活に役立つような知識を、たくさんもらいました。
- ・難しいと思っていた法学を、少しだけ身近に感じました。
- ・6回といわず、12回くらい連続でやってほしいと思います。

### 5 反省及び来年度の方向

- ・テーマは今日的で緊急性のあるものであり、興味深く受講した方が多かったと思います。レベル的にも、今年度くらいが丁度よいと感じました。
- ・今年度は、募集定員の半数程度しか申込みがありませんでした。(昨年は48人の申込み)  
今後は、3月に合併する近隣地区にもどんどん働きかけていきたいと思っています。





鍛錬の中に楽しさを  
スポーツチャンバラ豊浦支部

新発田市豊浦地区のスポーツチャンバラ豊浦支部は、保育園児から、50歳くらいの人25名で活動しています。昔のチャンバラごっこをスポーツとして楽しむところからはじまり、道具を使って自分の身を守る護身術的な要素も含まれています。  
現在、大人は少なくほとんどが子ども達で活動していますが、みんな仲良く、でも勝負の世界なので、中高生も小

学生だからと手を抜かず練習しています。

そんな中で、豊浦中学三年の中村愛子さんが世界選手権、小太刀一般女子の部で連覇、さらに長剣一般女子の部の優勝者で争われるチャンピオン決定戦も制することができました。これからも、みんなまで精進していきたいと思えます。

新発田市スポーツチャンバラ豊浦支部  
布川 幸恵 記



健康のために

丹田呼吸法教室

「お元気だね！先生は」の  
声が、毎回聞こえる教室です。  
月二回、町の施設「学習館」  
に集まり、調和道丹田呼吸法  
の指導者から基本の呼吸法を  
学んでいます。静かさの中で



丹田に気を込めて息を短く、  
または長く吐く息法の実修、  
リラクセスして時空や全身操  
作などをやります。

「体が温かくなる」「気分  
もさわやか」「肩の重さ感が  
薄れる」…と、一人ひとりそ  
れぞれに、何か体に調子の良  
さが感じられるようです。  
開講して五年になります。  
全二十名揃うことは希ですが、  
今もマイペースにみんなが実  
習を積み重ねています。

最近、日帰り旅に全員で憩  
い、和み、心にもあたたかさ  
が広がっていくようです。

西川町 丹田呼吸法教室  
帆刈 稲子 記

昨日は妙高、今日は頸城、明日は直江津…、頸城  
地区公民館・外ノ池 一館長の手帳はいつも予定で  
いっぱいです。平成2年に頸城村公民館長に就任さ  
れて14年、館長さんが関わられなかった行事はあ  
りません。ゆえにファン層も幅広く、公民館には外  
ノ池館長を慕う方々の熱いコールが絶えず寄せら  
れています。

どんな場面でも場を和ませ、

上越市頸城地区公民館  
館長 外ノ池 一さん



笑いを引き出すセンスと話術は天下一品。ですが、  
必ず一点締めるところは忘れない粋な姿勢は職員全  
員の憧れの的です。時に披露される「芸」はとって  
も面白いんですよ！

お仕事を一緒にさせていただき、多くを学ばせて  
いただきました。外ノ池館長、本当にありがとうございました！

(上越市頸城地区公民館 磯貝睦美 記)

「おはようございます。公民館、酒井でございます。」

という、電話対応の明るく元気な声を聞くたびに、  
こちらまで幸せな気分させてくれる、公民館にな  
くてはならない存在、それが酒井係長です。

高齢者が相手の「白寿大学」においても、受講者  
に慕われ、いつの間にかみんな  
の輪の中に入り、自分も一緒に

五泉市公民館  
主幹 酒井範子さん



楽しんでしまうほどのバイタリティーの持ち主。

かと思えば、市展の写真部門に出品した作品が、  
入賞寸前？までいくほどの腕を持つ「芸術家」な一  
面も持ち合わせています。

これからも、天性の明るさと美しさと、あくなき  
探究心で、五泉市の生涯学習を仕切りまくってくだ  
さい！

(五泉市公民館 主査 横山泰巳 記)



# 恵贈資料紹介

## 公民館ってオモシロイ!

平17・2・6(日)付新潟日報「にいがたの二冊」欄で高澤正樹(新潟放送相談)氏が書評。平17・2・8(火)付毎日新聞「新潟のほん」欄で柴田真理子氏が紹介。2005・2・15(火)付にいがた社会教育No.374「書籍紹介」欄で紹介。平17・2・19(土)付新潟日報夕刊「ときめきトーク」欄でも紹介。



冊です。筆者は皆様ご存知、昨年まで私どもの県公連会長として強力なリーダーシップを発揮され、ユニークな発想で数々の事業を

企画、開発、実践された現場人です。内容も正に標題のとおりです。ぜひご購入の上、ご一読を!! ご購読ご希望の方は左記発注先へ

◆発注先!!  
〒950-3353  
豊栄市長戸呂二四六五  
岡山で決めた今井昭友BOOK  
製作委員会 高橋正範  
TEL・FAX  
025-387-6247

※新潟市、豊栄市の主要書店などでも販売しております。

今井昭友館長と仲間たち

# カチッと ベルト

## パーフェクト運動!

実施期間  
平成17年3月1日(火)~3月31日(木)

新潟県・新潟県交通安全対策連絡協議会・新潟県警察

# event information

## あ と が き

**関** ブロ公連第2回理事会も終了、神奈川県公連主管の下、8月の本大会に向け具体的な歩みが始されようとしております。

一方、県公連理事・評議員会では17年度の方向づけがなされましたが、内外共に大変厳しい

財政事情が予想されるため、来年度も大幅な歳入減となりそうです。

せめても、新潟県公民館月報の個人購読の拡大と、事業面での広告収入を考えねばならないようです。

三月末は、市町村合併に伴う大幅な人事異動も予想されます。(鈴木 記)

# 生活豊かにする ロボット

2005年 3月5日(土) オープン!

みんな、会いに来てね!

新潟県立自然科学館

# 発見! ぶるさとの大地

—にいがた地質情報展—

3月19日 4月3日

表紙解説 「フリースペース自由空間」 地域のおしゃべり広場として交流しています。時折ミニコーナーを開催。写真は2月に行われた「コーヒーの楽しみ方」